

観光連盟Topics

令和6年度DMO事業報告書を提出しました

観光地域づくり法人(DMO)の登録(令和5年度)により、京都府観光連盟は年に1回、取り組みに関する自己点検を実施し、その結果を事業報告書等にまとめ、観光庁に報告する必要があります。

このたび、「観光地域づくり法人形成・確立計画」及び「令和6年度事業報告」を作成し、観光庁に提出しました。

なお、計画にはKPIを設定しており、令和6年度までの達成状況及び目標は右のとおりとなっています。

これからも、京都府全域を対象とする都道府県DMOとして、広域的なプロモーション等による京都府全体への誘客促進や、地域共通の課題である観光人材の育成支援等、観光基盤づくりに会員事業者の皆さまと連携しながら積極的に取り組みます。

指標項目		2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	2027 (R9) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	—	1,176,745	1,367,625	1,436,006	1,507,806	1,583,196
	実績	()	()	()	()	()	()
	実績	1,116,745	1,657,756	2,058,100			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	13,315 (883)	23,520 (1,662)	32,287 (12,626)	33,901 (13,257)	35,596 (13,919)	37,375 (14,614)
	実績	21,110 (1,413)	32,125 (12,133)	33,168 (16,613)			
	実績	()	()	()			
●来訪者満足度 (%)	目標	79 ()	86 ()	87 ()	88 ()	90 ()	91 ()
	実績	85 ()	94 ()	89 ()			
	実績	()	()	()			
●リピーター率 (%)	目標	—	42.5	45.0	47.5	50.0	52.5
	実績	()	()	()	()	()	()
	実績	39.4 ()	37.9 ()	49.7 ()			

()内は訪日外国人旅行者に関する数値

「京都 朝・夜観光」推進事業補助金

観光時間の分散化や地域の新たな賑わいの創出、周遊観光の促進を図るため、京都府内で行われる夜間又は早朝イベントの開催、体験プログラムの造成やツアーの広報・宣伝にかかる費用を支援する補助金事業を行っています。採択されたイベントについて各事業者により、順次、開催中です。

【補助期間】 交付決定日 から令和8年1月 31 日(土)まで

	第1回募集	第2回募集
期間	令和7年6月25日(水) から7月14日(月) まで	令和7年9月8日(月) から10月6日(月) まで
採択	23事業	審査中



採択事業については
こちらの二次元コードから

「見つけた！隠れた京都の秋」 Instagramキャンペーンを実施中

「見つけた！隠れた京都の秋」をテーマとして、京都ならではの景色・景観、食や文化、暮らしの風景、素敵な思い出、イベントなど、秋の写真をInstagramで募集していますので、ぜひ御応募ください。

また「まるっと京都」の取組として、今年度は、京都府、京都市とともに観光時間の分散化に取り組んでおり、夜間・早朝をテーマとした写真も募集しています。「もうひとつの京都」及び「とっておきの京都」エリアにおいて朝の静けさや早朝しか見られない景色、夜間のライトアップ等の写真を御投稿ください。

実施期間：令和7年10月14日(火)
～12月21日(日)

対象エリア：

- ・「もうひとつの京都」エリア
- ・「とっておきの京都」エリア



キャンペーン詳細



公式Instagram



「竹の里・乙訓」「お茶の京都」まるっと周遊デジタルスタンプラリーを開催

京都府・JR西日本観光連携協議会(事務局：(公社)京都府観光連盟)では、公共交通機関による京都府域の周遊観光を促進するため、以下のとおりデジタルスタンプラリーを開催する予定です。(詳細は今後発表予定)

名称：「竹の里・乙訓」「お茶の京都」まるっと周遊デジタルスタンプラリー

開催趣旨：関西近郊のお客様を主なターゲットにした公共交通機関を活用した乙訓エリア及びお茶の京都エリアへの周遊観光促進を図るもの

開催期間：令和7年11月16日(日)～令和8年2月15日(日)

内容：「宇治市」「八幡市・久御山町」「向日市」「長岡京市」「大山崎町」「京都市」の6つのエリア内に設定したスタンプラリースポットを周遊し、スタンプを取得

景品：スタンプラリーを達成し、ご応募いただいた方の中から抽選で沿線ゆかりの素敵な景品をプレゼント



「京都府観光経営セミナー」を開催

観光事業を取り巻く環境変化に対応するため、DXの考え方・技術を活用し事業展開を実行する「観光DX人材」の育成を図るため、観光関連事業者の方を対象に、「京都府観光経営セミナー レクチャー編」を開催しました。

実施日：令和7年8月7日(木)、8日(金)、
25日(月)、26日(火)

場所：京都大学経営管理大学院

受講者：30名(対面・オンライン併用)

「体験編」は、以下の日程で開催します。
令和8年2月12日(木)、13日(金)、
19日(木)、20日(金)



「紅葉だより」PRの実施

京都府域の紅葉スポットを紹介するパンフレット「京都府全域紅葉だより2025」を作成・発行予定です。このパンフレットは、当連盟HPにて、紅葉状況を調査している「紅葉だより」のスポットと連動しており、10月末から調査を実施予定です。

■パンフレット

11月上旬頃発行予定

■紅葉状況調査

京都府内の紅葉の見どころ「126か所(京都府域53か所、京都市域73か所)」の紅葉の状況を調査し、当連盟HPで公開。

実施日：10月31日～12月上旬の火・金曜日



当連盟ホームページ

「京都観光おもてなし人材育成セミナー」を開催

京都府内の宿泊施設・飲食店等の観光関連事業所従業員を対象にDXを見据えたデジタルリテラシーの養成とデジタル利活用によるおもてなしの向上を目的としたセミナーを全4回開催しています。

今年度は第1回(宇治会場)及び第2回(福知山会場)について開催したところです。今後、第3回・第4回のセミナーを以下のとおり開催しますので、ぜひ御参加ください。

<第3回>

日時：令和8年1月23日(金)13時30分～16時

会場：生涯学習施設・道の駅 ガレリアかめおか
大広間保津川

講師：株式会社ユニットティ 代表取締役 永山 卓也 氏
内容：

第1部 Googleビジネスプロフィール基礎編
必ずおさえるべき情報整備の要点

第2部 Googleビジネスプロフィール応用編
さらに集客に繋がる活用術

<第4回>(※スマートフォンを持参願います。)

日時：令和8年1月28日(水)13時30分～16時

会場：京都商工会議所(京都経済センター 7階)

講師：ビジネスファイターズ合同会社 CEO
一般社団法人中小企業AI 活用協会
代表理事 飯田 剛弘 氏

内容：

第1部 生成AIによる観光業の業務効率化 ～もう無視できない、進化が止まらない生成AIをキャッチアップ～

第2部 スマホで体験！観光業に役立つ生成AIの最新活用事例を学ぶ



お申込みは二次元コードを読み取った先から

大阪・関西万博会場で観光PRを実施

関西パビリオン京都ゾーンでの展示に「森の京都」、「竹の里・乙訓」エリアの市町や企業等とともに参加し、デジタルサイネージやパンフレットの配架等により京都府域の観光PRを行いました。大阪・関西万博も終盤に差しかり、京都ゾーンにも多くの方に来場いただきました。

実施日：令和7年9月29日(月)
～10月5日(日)
場所：関西パビリオン京都ゾーン



鴨川納涼2025を開催

京都の夏の風物詩として定着している「鴨川納涼」を鴨川納涼実行委員会(事務局：当連盟、京都府)が主催し、多くの方に来場いただきました。当連盟としても、ブース出展を行い、川の京都や府内市町村の観光PRを行いました。

実施日：令和7年8月2日(土)、3日(日)
場所：鴨川三条大橋～四条大橋右岸
来場者数：約32,700人
出展数：62ブース



「老舗フェスティバル2025」に出展

首都圏における観光PRを目的として、「老舗フェスティバル2025」に初めて出展しました。当日は、共同出展した(公社)京のふるさと産品協会(当連盟会員)とともに、京都の魅力を発信しました。

実施日：令和7年10月11日(土)
場所：東京日本橋 福徳の森周辺エリア



「ツーリズムEXPOジャパン2025」に出展

国内外の観光業界の関係者が一堂に集まる「ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸」に、「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」、「竹の里・乙訓」、「とっておきの京都」、「京都教育旅行」の担当者と共同で、「まるっと京都」をテーマに京都府ブースを出展しました。業界日は旅行社等との商談会、一般日は来場者向けに京都府内各エリアのSNS登録の推進などを行いました。

実施日：令和7年9月25日(木)
～28日(日)
場所：Aichi Sky Expo
(愛知県国際展示場)
来場者数：127,677人(4日合計)
・業界日：38,460人
・一般日：89,217人



タイ商談会への参加

(一社)関西観光本部主催の「第2回タイ商談会」に参加し、現地の旅行会社への訪問(4社)やブース出展を行いました。

実施日：令和7年7月8日(火)、9日(水)
場所：タイ バンコク市
概要：

- ・タイ人の旅行先として、日本は4位に選ばれており、年々訪日需要が高くなっています。
- ・今回、関西全体をPRする広域商談会がバンコク市内で開催され、タイの旅行会社41社が参加しました。
- ・出展側は、関西の観光関連団体33社がブース出展し、京都府観光室、当連盟で京都府の観光PRを実施しました。



詳細はこちらの
二次元コードから

京のひとこと

京都府観光連盟では、会員の皆様へ事業内容や取り組みを発信するため、会報誌「京都府観光連盟News」を発刊しているところですが、より充実した内容をお届けするため、「京のひとこと」として、当連盟の役員によるコラム記事の掲載を開始しました。今回は、当連盟の副会長である京都山城地域振興社(お茶の京都DMO)浅井栄一社長に執筆いただきました。

京都山城地域振興社(お茶の京都DMO) 浅井 栄一 社長

元V6岡田准一さんのTVCMで話題の「ひらパー」こと「ひらかたパーク」。その園長をしていた当時、「楽しかったね！また来ようね！」と言って帰られるファミリーの「笑顔」が今も忘れられません。めざしていたのは、「お客さまにやさしい遊園地」でした。

「やさしい」とはなにか？楽しいアトラクション、バリアフリー、笑顔の対応、親切な案内、清潔・・・等々、いずれも遊園地にとって重要な要素ですが、やはり究極のやさしさとは「安全、安心」の確保だと思い、取り組んでいました。

現在、過去最高のインバウンド訪日客数を更新しています。日本が訪問先として選ばれる理由として日本特有の文化、自然、食や円安の効果等があげられますが、やはり日本が平和で治安が良いこと、つまり「安全、安心」であることが重要なのだと思います。

それぞれの観光地域においても、交通、宿泊、食、イベント等における「安全、安心」、さらには甚大化する災害に対して「安全、安心」を確保するために最大限注力していかなければなりません。安全の追及に終わりはありません。「安全」が継続してはじめて「安心」が生まれ、「信頼のブランド」が築かれます。それが高付加価値、リピーターを創出し、「選ばれる持続可能な観光地域」の実現につながるのだと思います。

観光に来られたお客さまが「楽しかったね！また来ようね！」と満面の笑顔で楽しんでいただけるような「お客さまにやさしい観光地域」の実現に向けて、さらなる高みをめざして取り組んでいきたいと思います！

観光連盟 データ分析 Report

京都府全域 8月の国内来訪客の分析

大都市圏からの来訪者を、ビッグデータを用いて前年と比較

■東京都からの来訪者

訪問先エリア	増減率
海の京都	-4.0%
海の京都・森の京都	2.2%
森の京都	-0.8%
お茶の京都	14.3%
竹の里・乙訓	30.9%
京都市	16.2%

訪問先主要駅周辺	増減率
天橋立駅周辺	-10.7%
京都駅周辺	20.8%
JR宇治駅～京阪宇治駅周辺	6.4%
奈良駅周辺	15.3%
大阪駅周辺	40.1%

■愛知県からの来訪者

訪問先エリア	増減率
海の京都	0.7%
海の京都・森の京都	3.8%
森の京都	-8.1%
お茶の京都	17.0%
竹の里・乙訓	24.8%
京都市	14.8%

訪問先主要駅周辺	増減率
天橋立駅周辺	1.8%
京都駅周辺	18.7%
JR宇治駅～京阪宇治駅周辺	7.6%
奈良駅周辺	9.1%
大阪駅周辺	32.5%

■大阪府からの来訪者

訪問先エリア	増減率
海の京都	-3.0%
海の京都・森の京都	-2.3%
森の京都	-2.6%
お茶の京都	4.2%
竹の里・乙訓	7.2%
京都市	4.5%

訪問先主要駅周辺	増減率
天橋立駅周辺	1.1%
京都駅周辺	11.8%
JR宇治駅～京阪宇治駅周辺	3.5%
奈良駅周辺	7.2%
大阪駅周辺	9.5%

福知山市と綾部市は「海の京都・森の京都エリア」としてまとめています。

【エリアごとの分析】 全体的にお茶の京都、竹の里・乙訓、京都市への来訪が増加した一方で、海の京都・森の京都エリアは微増から微減であった。出発地ごとに見ると、東京都および愛知県からの来訪は2桁の増加もみられたが、大阪府からの来訪は全体的に低調であった。なお、森の京都エリアは亀岡市のイベント開催状況からの影響が大きい（2024年：花火大会開催・Jリーグ名古屋と試合、2025年：花火大会中止・Jリーグ東京と試合）。

【主要駅周辺ごとの分析】 東京都および愛知県からは共に大阪駅周辺への来訪が大きく伸びているが、京都駅周辺へもそれに続く増加が見られた。大阪府からの来訪者については、京都駅周辺が2桁の増加であったが、他府県からほどの大きな増加は見られなかった。

【まとめ】 大阪・関西万博開催で大阪へ向けて大きな人の流れがあるなか、東京都および愛知県から京都府南部へ多くの来訪が見られたが、それが京都府中・北部までは伸びなかった。また大阪府からの来訪は低調ではあったが、京都府全体で大きな減少にまでは至らなかったといえる。

来訪者数データの出典：ヤフー・データソリューション DS. INSIGHT（2025年9月25日時点の推計）

<編集・発行者>

公益社団法人京都府観光連盟
令和7年10月24日発行

<事務局>

〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 府庁2号館3階
TEL:075-411-9990
URL:<https://www.kyoto-kankou.or.jp>